

	徳島大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部（第1年次：114） ※医学科を記載。 医科学教育部（ヘルスバイオサイエンス研究部）（M：10 D：51） 疾患酵素学研究センター
沿革・設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に、官立徳島医学専門学校、徳島高等学校、徳島医科大学を包括して、昭和24年（1949年）徳島大学医学部医学科として設置された。 <u>昭和24年（1949年） 徳島大学設置と同時に医学部設置</u> 昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置（平成16年（2004年）医科学教育部に改組） 昭和36年（1961年） 医学部附属酵素研究施設設置（平成19年（2007年）疾患酵素学研究センターに改組） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成21年（2009年） 疾患酵素学研究センターが共同利用・共同研究拠点に認定
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島大学の教育目標に基づき、自立して未来社会の諸問題に立ち向かう進取の気風を身につけた医師・医学研究者等の養成を積極的に推進する。また、国立大学では唯一医学部に設置された栄養学科や同キャンパス内の歯学部・薬学部・研究センターなどの教育研究組織の連携により、多くの職種の専門職連携による医療人育成や研究指導を積極的に推進する。 ○ 医療関連学部・学科の分野を横断した教育研究クラスターを活かした先端的で特色ある融合研究の推進や、治験拠点医療機関としての取組実績を活かした高度で実施に困難を伴う治験等の推進により、日本発のイノベーション創出及び日本の医療水準の向上を目指す。 ○ 徳島県と連携した「徳島健康・医療クラスター」における糖尿病研究や、免疫学、疾患酵素学、基礎栄養学、医療栄養学等を始めとする基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 徳島県のみならず四国地区の医師不足・偏在の解消に貢献するため、地域医療の中核を担う医師の養成を学部段階からのキャリア形成支援を

含めて積極的に推進する。また、徳島県や県医師会と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。

- 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、総合周産期母子医療センター、第一種・第二種感染症指定医療機関等としての取組、徳島県立中央病院との密接な連携（総合メディカルゾーン）を通じて、徳島県における地域医療の中核的役割を担う。